

遊戯王タッグデュエル大会！！

——超融合！越後山脈を超えた絆！——

1 はじめに

この記事は新潟県で行われた当サークル合宿のイベントの一つ「遊戯王タッグデュエル大会」を座談会形式でレポートしたものである。タッグデュエルとは、通常1対1で行われる「遊戯王ゼアルオフィシャルカードゲーム」を2対2で行うもので、ルールはタッグフォースシリーズに準拠することとした。開催日は9月3日、ザ・ヴァリュアブル・ブック 14 発売後、カードプール・裁定は当時のものである。なお、本大会は勝ち残りトーナメント方式で行われた。

2 名・迷場面集

座談会の参加者は以下の通り。

BTB タッグデュエル大会の主催者。使用デッキは【リチュア】。

空星 《白魔導士ピケル》と《召喚師セームベル》をこよなく愛する。超攻撃力の【ジャンク・ウォリアー】で殴りかかる。

ルーニー ガチャガチャで当たったことが自慢の《E・HEROプリズマー》をひっさげ【ネオスピート】で参戦。

もっち 一見全然回らないけど、本当に全然回らないデッキを数多く所有。

2.1 一回戦

ルーニー：俺はシードだったんだが、みんなは一回戦どんな試合だった？

BTB・もっち：手札事故。

空星：特に見所は無く……。

ルーニー：(´▽´) へエ……いやもっと記事にしやすいこと喋ってくれ！

もっち：でも僕は《融合》さえ引ければ《Dragoon D-END》か《レインボー・ネオス》が出せたんですよ！

BTB：まるで意味がわからんぞ！

ルーニー：おーすごい！ よくそのデッキでタッグデュエルをしようと思ったな！

もっち：そこですか(笑)。

2.2 二回戦

空星：そんなことより二回戦ですよ！

一同：あー……。

ルーニー：皆記憶に残っているようだが、空星くんが《ジャンク・シンクロン》の効果で《白魔導士ピケル》を特殊召喚し、《地獄の暴走召喚》を発動しようとした場面だな(図 1)。



図 1 問題のシーン

ルーニー：この時間問題になってくのが、相手のモンスターゾーンがすべて埋まっていることだ。当時の裁定だが……。

「Q.相手のモンスターカードゾーンが全て埋まっている場合、《地獄の暴走召喚》は発動できますか？」

A.調整中

一同：(爆笑)

ルーニー：空星くんのこのコンボは何度も見てきたがまさか大会中に調整中と出会うとは！会場も大爆笑の渦につつまれた！

BTB：仕方ないからこの時は、(海馬社長っぽく)「主催者権限により！発動を不可能とする！！」

もっち：という裁定がくだった(実はリチュアをソリティア呼ばわりされた私恨である)。

空星：これが決まっていれば！

ルーニー：確かに攻撃力 4700 の《ジャンク・ウォリアー》は俺の基本攻撃力 2500 の【ネオスビート】には相当な脅威だ(……《A・O・Jカタストル》でなければ《オネスト》で終わっていたことは黙っておこうか)。

2.3 三回戦

BTB：とかもう決勝戦です。

空星：タッグデュエルならシングルと比べて試合数半分だからな。進行が早い早い。

もっち：その割に決勝が食事の時間までずれ込んで大広間が使えなくなるという。

ルーニー：晩御飯に優先権があるから仕方ない。肝心のデュエル内容だが《黄泉ガエル》が強力だった！【帝】のリリース要員として投入されていたが、相方のターンでも現れシンクロ素材になったり壁になったりと大活躍で、俺たちの【ネオスビート】と【おジャマ】では全く対応出来なかった。

空星：いやーそこじゃないでしょ。

もっち：やっぱり見所はラストターンだろ。《おジャマ・カントリー》で攻守が逆転している状態で《炎帝テスタロス》を《E・HERO ネオス》が蹴散らし、最後は《おジャマ・イエロー》のダイレクトアタックで勝負が決した！

ルーニー：《おジャマ・イエロー》が勝負を決めるというドラマチックな展開に大いに盛り上が……るはずだったのだが……

もっち：【帝】のプレイヤーが最後にセットしたカードが《サイクロン》でしたからね。《おジャマ・カントリー》に対し発動していれば、このターンはしのげたはず。

BTB：デュエル後は「あーあ、《サイクロン》使わないからー」の嵐だった(笑)

空星：今引きだったから「お、こいつやるな！」と思ったもん、ディスティニー・ドローに見えた。

ルーニー：まさに岡目八目。現状に直面している時に的確な行動をとるのがいかに大変かよくわかる出来事だった。

BTB：綺麗にまとめようとしているところなのですが、正直名場面がひとつもないように思うのは俺だけではないはず。

3 決着！ 十代 VS 万丈目！！

BTB：タッグデュエルトーナメントは【ネオスビート】と【おジャマ】の十代・万丈目チームの優勝で幕を閉じたが……まだ戦いは終わらない！最後は優勝した【ネオスビート】と【おジャマ】の直接対決だ！

ルーニー：今までタッグを組んでいた者同士が最後に戦うというのはいい考えだと思ったぞ。

空星：お互いに手の内を知り尽くしていますからね。緊張感ある戦いが予想されます。

もっち：アニメでは十代が圧倒的に勝ち越しているわけだが……。

BTB：序盤。当然のように登場する《E・HERO ネオス》。対する【おジャマ】側がくりだしたのは《ガチガチガンテツ》。破壊無効効果で場をつなぐ。

もっち：はやめに《ゾンビキャリア》が墓地に落ちたのが強かった。蘇生効果を使っても、エクシーズ素材にすることで除外を防いでいた。

空星：【おジャマ】はパーツが揃うまでは我慢の時間が続く。ここでは【ネオスピート】が若干有利に見えた。

BTB：中盤。《おジャマ・ブルー》の効果で集めたパーツで【おジャマ】が反撃を開始する。

もっち：このあたりの攻防は本当に真剣勝負。一手でも斬りつけたほうが勝つ感じ。

ルーニー：そうそう。致命的な一太刀になりそうな《おジャマ・レッド》や《ライトニング・ボルテックス》の強力効果は《王者の看破》使ってぎりぎりがかわしてた。

空星：(小声で)あれー？そんな万能カウンターとか入れちゃっていいんですか？

ルーニー：(《E・HERO ネオス》を顔の前に持ってきて)「オレにだって……蘇生できないことぐらい…ある…。」

空星：わかりにくいキバヤシネタはやめてくださいよ(笑)。

BTB：終盤。《おジャマ・カントリー》と《おジャマ・ナイト》が出揃った！

ルーニー：これで《おジャマ・ナイト》の攻撃力が《E・HERO ネオス》を常に上回るようになったからな……。

空星：しかも隣には《ガチガチガンテツ》。この時点で《おジャマ・ナイト》の戦闘破壊は絶望的だ。

BTB：《ガチガチガンテツ》《おジャマ・ナイト》を前に《No.39 希望皇ホープ》で守りを固めるも、ここで登場するのはずっと除外されていない《ゾンビキャリア》だ！《おジャマ・イエロー》と《ゾンビキャリア》でオーバーレイ！2体の《ガチガチガンテツ》が並ぶ！2体の攻撃で《No.39 希望皇ホープ》の効果を使い切らせ……《おジャマ・ナイト》の攻撃！《No.39 希望皇ホープ》は自壊し《おジャマ・ナイト》のダイレクトアタックが決まった！！

ルーニー：ちくしょおおお負けたかアアクソオオでも……楽しいデュエルばっかだったよなア……

もっち：本当にいいデュエルでした。

空星：敗因は何ですかね？

ルーニー：《おジャマ・カントリー》と《ゾンビキャリア》がいつまでも処理出来なかったことかな。いくら《E・HERO ネオス》が過労死モンスターでも《おジャマ・カントリー》で何回も復活する《おジャマ・ナイト》ほど蘇生は簡単じゃあないし、蘇生しても攻守が逆転するしで苦しいものがあった。



図 2 優勝賞品

BTB：デュエルディスクは万丈目のものになりました。

ルーニー：アニメでは勝っても時代は漫画版だよ……。カイザーに勝てよ万丈目！！

4 おわりに

ルーニー：実はタグデュエルって「デッキコンセプトがあわない！」とかでグダるんじゃないかなとも思っていたが楽しかった。タグ用のデッキアイデアもなかなか面白かったしな。

空星：《カオス・ソルジャー -開闢の使者-》なしで《原初の種》が入ってたりしましたね(笑)。

もっち：いや、あれは僕の《D・HERO ダイアモンドガイ》デッキと組めば発動できる！

ルーニー：君はいつも正しく間違っている……と一瞬思ったが仲間のデッキに期待するという意味では別に間違っていない気がする。なによりできたらかっこいいし(笑)。

BTB：なかなか好評だったようで嬉しい限りです。次回の合宿もお楽しみに！